



第18兵站即応中隊、2011年度善行賞を受賞

第18航空団広報局

11月26日、東京の明治神宮にて、嘉手納基地第18兵站即応中隊を代表して豊川園恵氏が、日本善行会より春季善行表彰を受け取りました。同中隊が団体部門で表彰されるのは、2010年に続き2度目となりました。また個人部門では、第961航空管制中隊所属のリチャード A.ハウエル兵長も受賞しましたが、嘉手納基地からすでに離任しているため、代理受領となりました。

日本善行会は内閣府所管の社団法人で、善行の推進や地域住民間の相互交流の促進を図っています。

九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会の視察訪問

第18航空団広報局

11月17日、九州・沖縄各県の防衛議員連盟等を構成団体とした「九州 沖縄防衛議員連盟連絡協議会」から、およそ76名の方々が、嘉手納基地を訪問しました。第18航空団副司令官のコーリー・マーティン大佐が、歓迎の挨拶の後、嘉手納基地の任務概況を説明しました。その後、バスで移動しながら基地内の施設 活動内容を説明しました。同協議会は、国の防衛に対する九州各県・市民の意識の啓発と高揚を図るために設立され、各県間等の交流 情報交換を行っています。

防衛省・自衛隊の視察

第18航空団広報局

嘉手納基地では、防衛省の研究所や自衛隊基地内に所在する学校機関からの学生や隊員など、防衛省や自衛隊のグループの視察を受け入れています。自衛隊関係では主に航空自衛隊の訪問が中心で、航空団の飛行隊のパイロット、施設・警備・輸送・補給などを専門分野とする隊員、幹部候補生学校や幹部学校の学生が訪れています。視察の中では、嘉手納基地に関する概況説明や関連部隊の活動内容の説明を受け、関連施設の見学や航空機の地上展示の見学をしています。



CONTENTS

PART I

第18兵站即応中隊、2011年度善行賞を受賞

九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会の視察訪問

防衛省・自衛隊の視察

2011年沖縄国際カーニバル

PART II

2011年嘉手納基地の主な出来事



Happy Holidays!

2011年沖縄国際カーニバル

第18航空団広報局



(写真指定以外全て、米空軍：ブルーク・ピアーズ上等兵撮影)



11月26日、「沖縄国際カーニバル2011」が沖縄市コザ・ゲート通りを中心に開催され、今年も嘉手納基地内から大勢の人々が会場を訪れました。第18任務支援群司令官のラフティール・コンスタンティーン大佐が開会式及びコザ絵巻パレードに参加。同日、夕方行われた国際大綱引きには、去年に引き続き「A C E」（Airmen Committed to Excellence高志航空兵の会）から約200名のボランティアが、地元の方々と共に、大綱の移動を手伝いました。祭りの一週間前には嘉手納基地のボランティア約20名が綱作りを手伝い、地元の人々と一緒に、大綱を完成させました。ボランティアのなかには、去年も参加した方もおり、慣れた手つきで綱作りを手伝っていました。このような体験は沖縄滞在の大切な思い出になります、とあるボランティアが感想を述べていました。

国際大綱引きでは、沖縄国際カーニバル実行委員会の仲村富吉委員長と第18航空団司令官のマシュー・モロイ准将が挨拶をしました。モロイ准将は、「国際カーニバルの様々なイベントや大綱引きに参加することにより、我々米軍関係者は、地元沖縄の方々からの友情を感じるところです。この素晴らしい親善関係を、これからも継続していきたい」と述べました。

1回目の綱引きは、日米の児童が参加し、基地内から多くのチビッコたちが綱を引きました。2回目、3回目の綱引きには日米の大人が、東側（胡屋十字路側）と西側（嘉手納基地第2ゲート側）に分かれ綱を引きました。結果は東側チームが両ゲームを制しました。